

平成31年2月20日

保護者の皆様

仙台市立宮城野小学校
校長 成瀬 秀治

平成30年度「教育活動に関するアンケートの結果」について

向春の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

いよいよ3月は、6年生が19日（火）に卒業式を、また、他の学年も22日（金）に修了式を控え、それに向かって各学年最後の学習のまとめに取り組んでいるところです。

さて、11月～12月にかけて実施いたしました児童・保護者の皆様を対象とする「教育活動に関するアンケート」につきまして、その結果をまとめましたので、教職員の自己評価結果や学校関係者評価委員の皆様からのご意見も含めて、ご報告いたします。保護者の皆様には、ご多用の中、調査にご協力をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

- ☆ 実施日 平成30年11月20日（火）～12月 3日（月）
- ☆ 対象者 仙台市立宮城野小学校 児童・保護者の皆様・教職員

1 平成30年度の協働型学校評価重点目標について

今年度は下記の事項を重点目標として、取り組んでまいりました。また、今年度もそれぞれの項目に数値目標を設定し、より具体的に達成の可否が分かる指標を取り入れました。

協働型学校評価の重点目標

- 自分から挨拶できる。（保護者・自己評価80%以上）
 - ・ 笑顔で自分から元気に挨拶ができる。
 - ・ 感謝の気持ちを「ありがとう」の言葉で表現できる。
- 安全に気を付けて行動する。（保護者・自己評価80%以上）
 - ・ 「もしも」の時に、自分で判断し行動できる。
 - ・ 事故に遭わないように気を付けて行動できる。

重点目標実現のための三者の改善活動

学 校	家 庭	地 域
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も、中学校と連携して「あいさつ運動」や「いじめ防止キャンペーン」に取り組み、積極的に人と関わり思いやることができる子どもを育成する。 ・ 自分たちを支えてくれた人たちや、ゲストティーチャーとしてお世話してくれた人たちへ、感謝の気持ちを表すことができるようにする。 ・ 「安全指導の日」を設定し、各学級で登下校安全や災害から身を守る意識づけをはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親子の触れ合いを深めるとともに、家族で積極的に挨拶運動に取り組む。（各家庭での目標設定） ・ 子どもが交通事故や事件に巻き込まれないよう声掛けするとともに、放課後の子どもたちの様子を温かく見守る。 ・ 「地域をあげて子どもを守ろう委員会」による下校パトロール等の活動を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で子どもたちが、元気に挨拶し、仲良く遊んでいる様子を見守る。 ・ ルールやマナーに反する行いがあったときは、その場で注意し、よい行いをしている児童を見かけたらほめる。 ・ 大人自ら、交通ルールを守り模範を示す。

2 結果のまとめ

(1) 「笑顔で挨拶する」について

【児童アンケートの結果】

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない
			

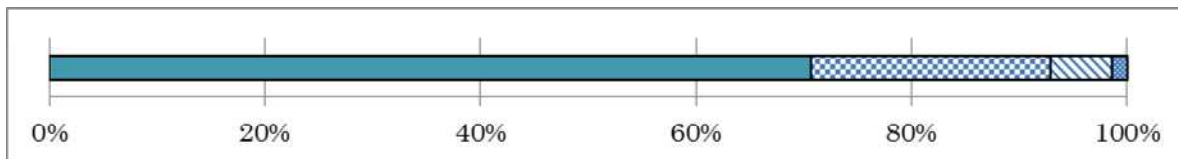
項目1 学校では、進んで気持ちのよいあいさつをしていますか。



項目2 近所や通学路では、きちんとあいさつをしていますか。(上学年のみ)



項目3 相手に親切にしてもらったとき、お礼の言葉を言っていますか。

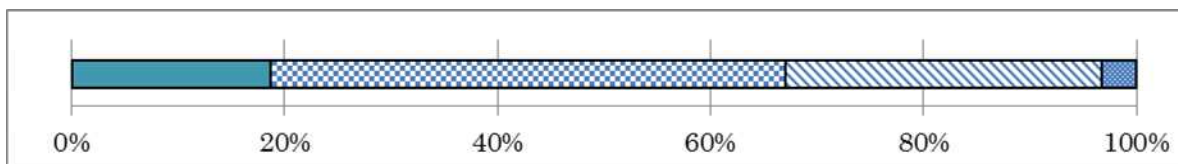


【保護者アンケートの結果】

項目1 学校は、元気に挨拶ができる子供を育てるための取組を行っている。

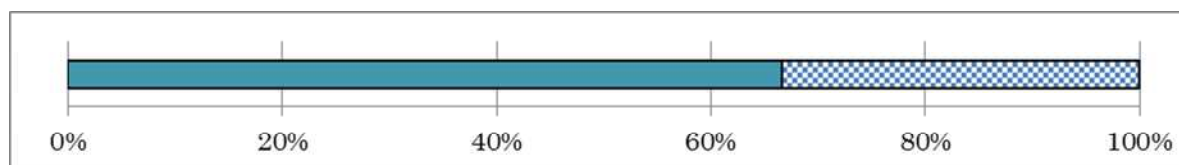


項目6 当校の子どもは、自分から「元気にあいさつ」ができる。

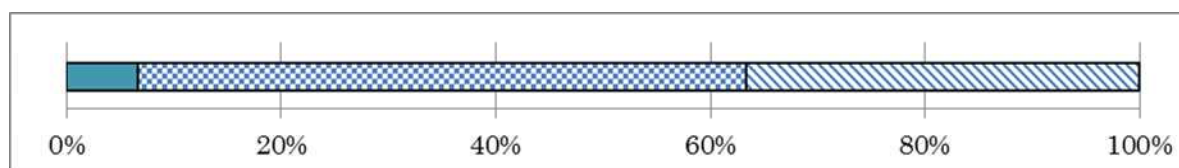


【教職員アンケートの結果】

項目1 学校は、自分から挨拶ができる子供を育てるための取組を行っている。



項目6 当校の子どもは、自分から「元気にあいさつ」ができる。



【結果の考察】

「そう思う」「ややそう思う」を合わせると約80%の児童が、学校では進んで、気持ちの良い挨拶をしていると考えています。一方で保護者アンケートと教職員アンケートの結果では共通して、「学校は、元気に挨拶できる子どもを育てるための取組を行っている」の評価に比べて「自分から元気に挨拶できる」の評価が低くなっています。特に、教職員アンケートでは、その差が大きくなっています。

昨今、不審者等についての不安もありますので、学校では「顔見知りの大人や防犯パトロールの腕章をつけている保護者の方々、教職員、校舎内ですれ違うお客様等」と、安心して接することのできる大人を対象にして、挨拶が出来るように指導を重ねてきました。

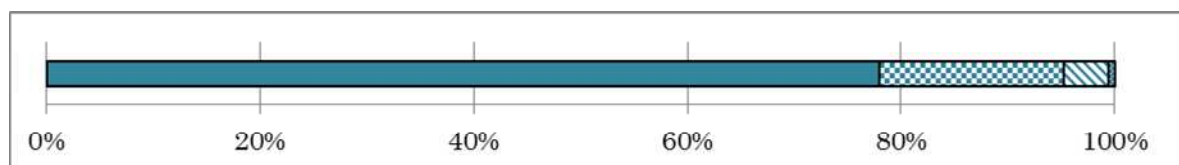
しかしながら、自由記述アンケートにもあるように、大人から挨拶をしても挨拶が返さない子どもたちがいることが、保護者の皆様と教職員から課題として挙げられています。

学校では、日常の指導に加え、道徳や学級活動でも継続して挨拶についての指導を重ねて参りますので、保護者の皆様にも、お子さんとの会話の中で、顔見知りの地域の方々、防犯パトロール中の保護者の方々や教職員への挨拶について話題にさせていただければと思います。

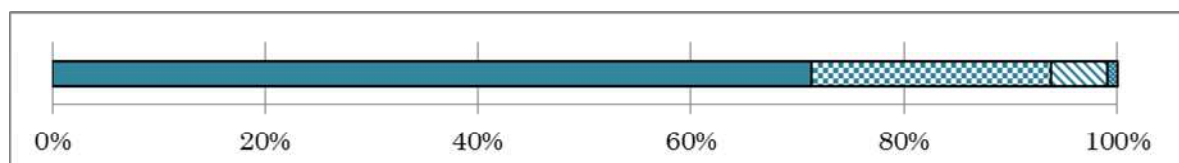
(2) 「安全に気をつけて行動する」について

【児童アンケートの結果】

項目9 事故にあわないように、ルールを守り気をつけて道路を歩いたり、生活したりしていますか。

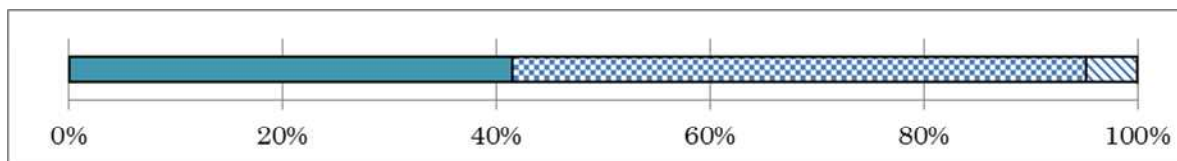


項目10 もし、災害や事故にあったときは、どうしたらよいか理解していますか。

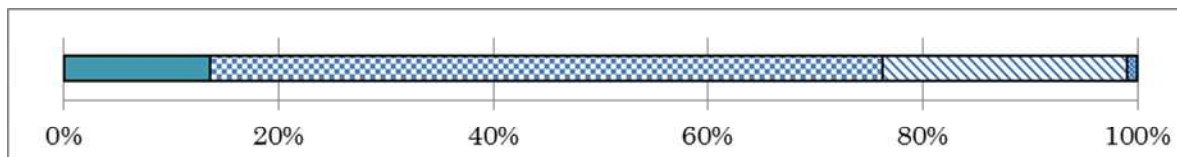


【保護者アンケートの結果】

項目5 学校は、防災・防犯教育に取り組む等、「安全安心な学校づくり」に向けて努力している。

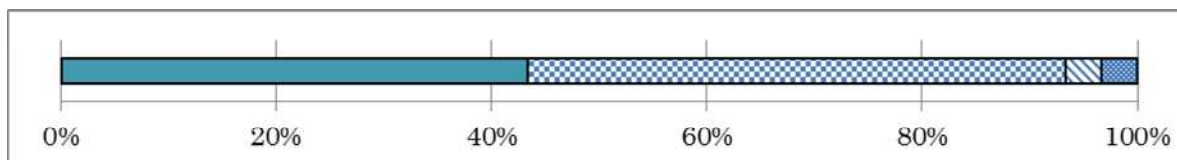


項目10 当校の子どもは、「安全」を意識して行動している。

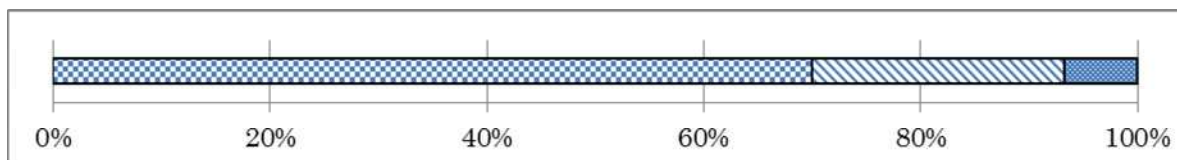


【教職員アンケートの結果】

項目5 学校は、防災・防犯教育に取り組む等、「安全安心な学校づくり」に向けて努力している。



項目10 当校の子どもは、「安全」を意識して行動している。



【結果の考察】

「そう思う」「ややそう思う」を合わせて90%以上の児童が、事故にあわないように、ルールを守り気をつけて道路を歩いたり、生活したりできている。そして、災害や事故にあったときは、どうしたらよいか理解していると考えています。

一方で保護者アンケートと教職員アンケートの結果では共通して、「学校は、防災・防犯教育に取り組む等、安全安心な学校づくりに向けて努力している」の評価に比べて「当校の子どもは、安全を意識して行動している。」の評価が低くなっています。

学校では、防災教育の取組として避難訓練を年間計画に位置づけて行ってきました。加えて、昨年度の後期から朝の活動時間に「防災タイム」を設定し、防災に関する指導を定期的に行ってきました。また、防犯教育については、不審者情報を受けたときなどの機会を捉えて指導を行ってきました。

保護者の皆様も「地域をあげて子どもを守ろう委員会」の取組として防犯パトロール行い、子どもたちの安全で安心な生活のために尽力していただけてきました。学校防犯ボランティア巡視員の皆様にも交通指導や見守りにご協力をいただけてきました。

保護者、教職員の評価と比べて、子どもたちの自己評価が良い数値を示していることは、家庭や地域、学校からの指導や声掛けを受けて、自分の行動に自信を持っていることを表しているも

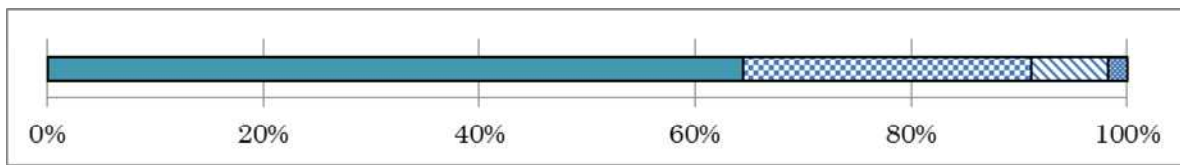
のと考えます。しかしながら、大人から見ると不十分な面が見られる実態なのだと考えられます。

自分を肯定する気持ちが高いことは、良いことです。子供たちの自信を大切にしながら、保護者、地域、学校の指導や見守り活動を継続していくことが大切だと考えます。学校では、子どもたちに対し、安全に関する知識の確かさや行動の良さを褒めながら、理解できていない点やできていない点について、日常の学級指導を中心に指導していきたいと考えます。ご家庭でも、防犯パトロールをした際や、ニュースなどで安全に関する報道があったときなどの機を捉えて、お子さんとの会話の話題にしながら、場面に合わせた安全対策について具体的な話をいただければと思います。

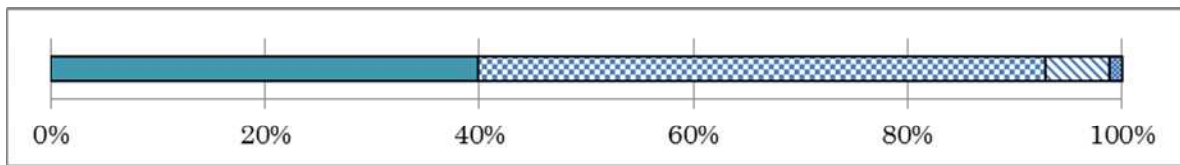
(3) 「いじめゼロ」に向けての指導について

【児童アンケートの結果】

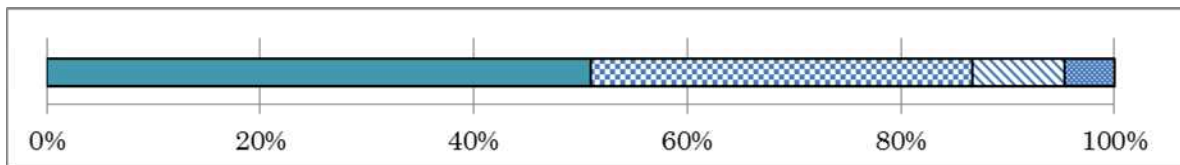
項目4 学校では、みんなとなかよくすごしていますか。



項目5 相手の気持ちを考えて行動していますか。(上学年のみ)



項目6 相手がいやがることはしていませんか。

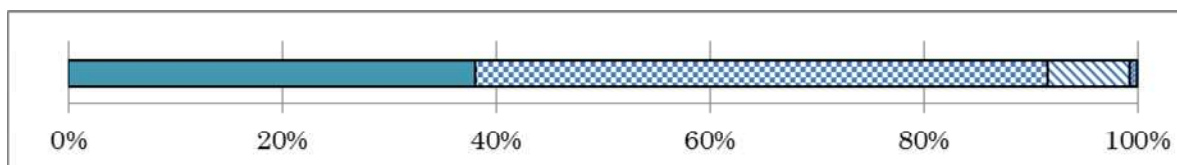


項目11 学校では楽しく生活していますか。

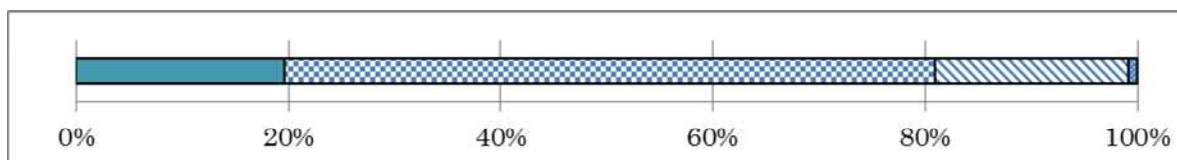


【保護者アンケートの結果】

項目 2 学校は、善悪の判断ができる子どもを育てるために努力している。(いじめゼロ)

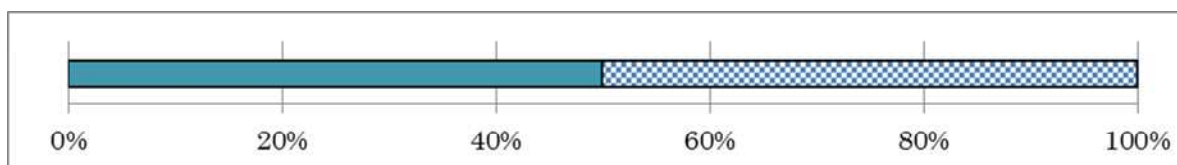


項目 7 当校の子どもは、「いじめゼロ」を意識して思いやりのある行動ができています。

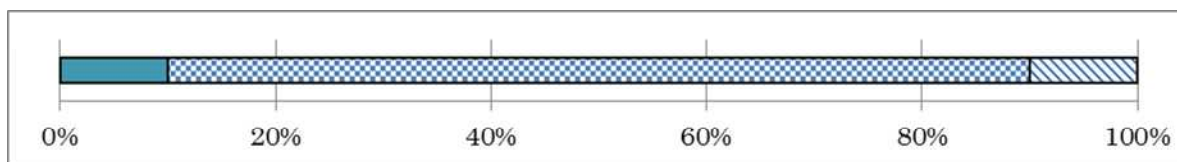


【教職員アンケートの結果】

項目 2 学校は、善悪の判断ができる子どもを育てるために努力している。(いじめゼロ)



項目 7 当校の子どもは、「いじめゼロ」を意識して思いやりのある行動ができています。



【結果の考察】

児童アンケートの結果、関係する3項目全てで90%を超える児童が、肯定的に捉えていることが分かります。また、保護者と教職員のアンケートでは、「いじめゼロ」を意識して思いやりのある行動ができていますの項目で、共に約80%が肯定的に捉えていることが分かります。

学校では、日常の会話や学年・学級ごとの取組などの日常的な情報収集の他に、年4回のいじめアンケートと年2回の児童との個別面談を実施し、いじめに限らず日常の良かったことも含めて、児童から情報を得るように努めて参りました。

また、子どもから聞いた話の内容などの得られた情報や指導の進め方などについては、適宜ご家庭へご連絡させていただきました。ご家庭からも、お子さんとの会話から気になったことやご家庭でお子さんに指導されたことを連絡帳で学校にお知らせいただくこともありました。

成長過程の子どもたちには、友人関係の悩みはつきもので、友人と関わる中で人付き合いを学んでいきます。学校での授業や生徒指導、保護者の方からのしつけの中で善悪の判断力や思いやりの気持ちを育て、また、子どもたちに困ったことがあったときには、家庭と学校とが力を合わせて解決を手助けしていくことが、子どもたちの対人関係能力を高めることとなります。学校では、いじめ「ゼロ」と子供たちの「学校が楽しい」で、肯定的な評価を100%になるまで努力を続けていきたいと考えます。今後ともご協力の程よろしく願いいたします。

(4) その他

児童、保護者、教職員アンケートの結果、共通して、児童アンケートの結果が、保護者、教職員のアンケート結果に比べて肯定的でした。自分に対して肯定的なイメージを持っていると言うことは、家庭、地域、学校等周囲の大人から認められて生活していることの表れだと考えられます。日常生活の中で深刻な問題行動が見られないのも、生活環境の良さが影響しているのかも知れません。

児童の評価の中で、「あまりそう思わない・そう思わない」と答えた児童が一番の多かった項目は、「外遊びをよくしますか。」でした。学校生活の中では、休み時間に外遊びする回数に個人差が見られます。家庭生活においても同様の傾向が見られるのではないのでしょうか。休み時間や家庭生活の中で、友達や家族との会話を楽しんだり、読書をしったりする過ごし方ももちろん大切ですが、運動することについても、推奨していきたいと思います。ご家庭でも、お子さんに応じて、保護者の方が一緒に運動するなどの取組をしていただくのも良いことだと考えます。

3 学校関係者評価委員会（2/8実施）の話し合いから

(1) 「笑顔で挨拶する」について

<委員>地域で子どもを守ろう委員会の防犯パトロールはどんな組織なのか。

<学校>保護者が協力して放課後に交代でパトロールするもので、PTA地区単位で割り当てている。登下校の様子を見守り、日誌に記録を残してくれている。歩き方を注意したところ、逆に反抗的になられた等の報告もあった。

<委員>挨拶しない子どもについて、相手が違うと挨拶しないものなのか。大人も挨拶しないのではないか。

<学校>子どもたちには、腕章等で保護者と分かる人には挨拶するようにと指導をしている。(昨年)近所の人にもするように言ったが、なかなか徹底しない。子どもの視点だと腕章等をつけていることに気付かない子が結構いるものと思われるので、大人から積極的に声をかけていきたい。また見て回っていただいていることで、学校では分からない子どもの状況が分かる。とても有り難い。

(2) 「いじめゼロ」に向けての指導について

<委員>子どもによっては自分の行為や発言が、いじめになると感じていない子がいるという内容をテレビ番組で放送していた。その辺の話を子どもにしなければならぬ。

<学校>いじめられた方がいじめと感じたら、それはいじめになるという事を子どもに指導し伝えている。

4 まとめ

残念ながら、達成できたのは児童評価の「学校では、進んで気持ちのよいあいさつをしていますか」今年度の協働型学校評価重点目標について、年度初めに設定した数値目標は、全ての項目で達成できました。しかし、児童が考える「できている」という姿と、大人（教職員や保護者）が考える「できている」という姿に、違いがあるようです。

挨拶については、「自分から」「笑顔で」の観点が大切なのではないかと教職員間では話し合い、改めて指導に力を入れているところです。また、児童会が中心となって実施した「あいさ

つ運動」を継続し、児童が自分たちで主体的に挨拶に取り組む姿勢を身に付けさせていきたいと思えます。挨拶は、身近な人々とのコミュニケーションの基本です。挨拶をきっかけとして対人関係能力を育てていきたいと考えます。

「安全に気を付けて行動する」につきましては、特に、子どもの命に関わる「交通安全」を含めた「安全・安心な学校づくり」に根気強く取り組んでいきます。保護者の皆様には、「地域をあげて子どもを守ろう委員会」でのパトロールを今後ともお願いいたします。

最後に、「教育活動に関するアンケート」へのご協力に対し、改めまして心から御礼申し上げますとともに、保護者の皆様からお寄せいただいた貴重なご意見のすべてには、残念ながらお答えすることができかねましたことお詫び申し上げます。

なお、必要性や緊急性のある事案に関しましては、これまで同様、いつでも学校にご連絡いただけますように、お願い申し上げます。

来年度も本校の教育活動に対し、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。